

# 令和3年度「地域内エコシステム」技術開発・実証事業 【チップボイラー導入にかかわる初期費用削減の技術開発】

## 事業の概要

事業実施事業者：株式会社WBエナジー

事業実施場所：愛知県（予定）

### 1. 事業の目的

国内で木質チップバイオマスボイラー導入にかかる費用が高額である問題の一つに、地下式燃料庫の建築費と燃料コンベア費用があげられる。地下式燃料庫の建設に掘削や山留、防水止水工事が必要となり、建築費が増大する共に地下からのコンベアの長大化により費用とチップ詰まりのリスク増大を招く。本事業はそれらを解消する為、地上コンベアによる燃料庫を地上化する事を目的としている。

### 2. 事業の実施方法

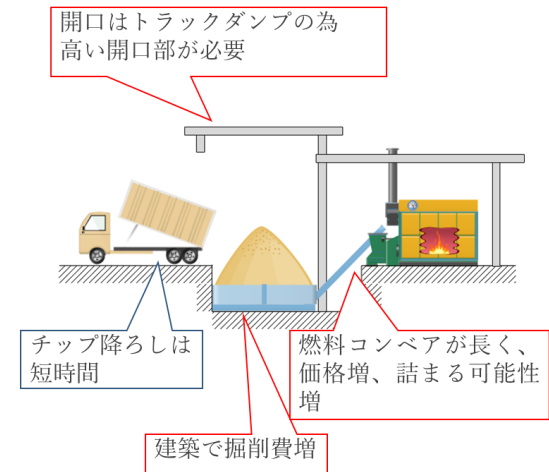
バイオマスボイラーの使用方法に合わせた地上コンベア機を国内で製作する事を目指し、その為バイオマスボイラー使用に特化した試作機の作成、また金額や騒音等を抑えた仕様となるよう、改良、調整検証を行う。

### 3. 事業の効果

燃料庫が地上方式になると、掘削や山留、防水止水工事が無くなる為、燃料庫建屋工事の費用がとても安価となる為、地上コンベア機器の費用増加があるが、それ以上に費用削減する効果がある。またバイオマスボイラーのトラブルの8割以上が燃料庫からのチップ詰まりにある。そのサイロチップ詰まり等のリスクが低減する効果もある為、チップボイラー導入を考える施設にとってのメリットが大きい。

現在弊社では、地下サイロ方式の採用が9割になっている。これが全国のバイオマスボイラー導入時に検討されれば、潜在ユーザーは年間の導入件数に比例して増加する事を見込める。

#### 地下式燃料庫



#### 地上コンベア式燃料庫

